

202402

2 R

1 1/2時間

(配点 各問100, 総計500)

- 1 (一) 商船を用途により分類するとどのような種類があるか。4つあげよ。
(二) 船体の次の部材の役目を述べよ。
(1) フレーム (2) キール
- 2 (一) 沿岸航行中の船位測定で用いられるクロス方位法を説明せよ。
(二) 船橋における航海当直は、一般にどのような時間割になっているか。
- 3 (一) 高気圧の圏内は、一般に天気がよいのはなぜか。
(二) 日本付近における梅雨前線について説明せよ。
- 4 (一) 海上衝突予防法によると、注意喚起信号はどのような場合に、どのような方法によって行われるか。
(二) 海上交通安全法施行規則において、「少なくとも2海里の視認距離を有し、一定の間隔で毎分180回以上200回以下のせん光を発する緑色の全周灯1個」を表示しなければならないと規定されているのは、どのような船舶か。
- 5 (一) 船舶安全法に規定されている船舶の検査の種類を2つあげよ。
(二) 次の(1)及び(2)は、何という法律の規定か。
(1) 船長の許可なく日用品以外の物品を船内に持ち込み、又は船内から持ち出さないこと。
(2) 何人も、船舶、海洋施設又は航空機からの油、有害液体物質等又は廃棄物の排出、船舶からの有害水バラストの排出、油、有害液体物質等又は廃棄物の海底下廃棄、船舶からの排出ガスの放出その他の行為により海洋汚染等をしないように努めなければならない。